



卒業式 2019

九州大学病院 医療技術部放射線部門 診療放射線技師 廣瀬貴章(2019年11月)
2016年4月社会人入学～2019年3月博士後期課程卒業

私は社会人学生として博士後期課程の3年間を有村研究室でお世話になりました。その体験談を書きたいと思います。

私の学生生活は、社会人学生でしたので大学の授業も少しありましたが、主には研究活動でした。先生とのミーティングで進捗を報告して、助言をいただきながら論文投稿に向け研究に勤しみました。私の場合は、九州大学病院で勤務しながらでしたので、業務後の夕方に週1回から2週間に1回程度の頻度でミーティングを行い、仕事と両立することができました。その分、先生にはご迷惑をおかけしましたが、夜遅くまでお付き合いいただき、熱心に御指導いただきました。論文のReviseの時などには、さらに頻繁に相談に乗ってもらい、毎日のようにメールでやり取りしてもらいながらAcceptに至ることができました。

論文投稿の他にも、国際学会での発表や科研費の取得など多くの経験を積むことができました。このような経験は一人では多分チャレンジしようとは考えなかつただろうと思います。また、卒業してからも研究の相談などお世話になっており、最近はプログラミングを有村研究室の方に教えてもらったりと、いまだに研究室に足繁く通っております。在学中よりお世話になっているかもしれません…。やはり、卒業してからが研究者としての始まりだと実感しています。しかし、このようなつながりができたことは私にとって大きな財産です。研究室には、論文の作成方法であったり、プログラミングであったり、多くの先輩方が培ってきた知識や経験が蓄積されていますので、それらを共有できることは大変ありがたいです。失敗しながら一から学ぶことは重要ですが、社会人学生のような限られた時間で研究を行う上では、大きな助けになるはずです。

このページを見る方の中には大学院への進学を検討されている方もおられるかと思います。私の周りにも進学を考えてるんだけど…というような話はしばしば耳にします。そんな方は、いろいろと不安なこともあるかと思いますが、ぜひ一歩踏み出して、まずは気軽に相談してみたいはいかがでしょうか？